

地域医療構想調整会議の議事概要

(福山・府中) 地域保健対策協議会

会議の実施日時	令和元年7月17日(水) 19:30~20:30 令和元年度 第1回
議題1 (平成30年度病床機能報告の報告結果について)	
【説明要旨】 ○2025年必要病床数(暫定推計値)と比較すると、急性期が多く、回復期が少ない状況にある。	
【質疑・意見等】 ○なし	
議題2 (病床機能報告に係る定量的な基準について)	
【説明要旨】 ○3/19に開催された県の医療審議会保健医療計画部会 県単位の地域医療構想調整会議で新たな定量的な基準が示された。 ○新たな定量的な基準は具体的な医療内容と入院料から整理を行う。 ○高度急性期/急性期と急性期/回復期のしきい値について、看護体制7:1病棟の平均による県全体の指標と当圏域の指標が県から示されている。 ○圏域の指標で分類した方が、やや2025年必要病床数(暫定推計値)に近い結果となった。	
【質疑・意見等】 ○病床稼働率も考慮した分析をすべきではないか。 ○手術総数は外科系の手術だけか。 →輸血, 輸血管理料, 一般病床・療養病床以外の病床における手術, 入院外の手術を除いた全て。 ○基準を用いて準急性期と判断した場合、県としては回復期として扱うが、県HPでは「回復期(準急性期)」と記載すると回答をもらっている。	
【合意事項】 ○準急性期という名称はしっくりこない。救急患者を受け入れているのだから、大阪府が使用している「地域急性期」という名称の方がよい。名称変更を県に要望する。 ○当圏域では、県から示された当圏域の看護体制7:1の病棟の平均値(手術総数43回数(高度急性期は86回数), 救急医療管理加算16件, 呼吸心拍監視39件)を定量的基準として採用する(入院料からの整理は県の案のとおり)。	
議題3 (今後の予定について)	
【説明要旨】 ○3/19の会議で提案された定量的な基準案について、各圏域の地域医療構想調整会議での結果、報告を踏まえて整理されることとなっている。 ○当圏域では、本日の協議結果を県単位の地域医療構想調整会議に報告し、整理された定量的な基準を情報提供するため、病院と有床診療所を対象とした医療連携会議を開催する。 ○医療機関には定量的な基準を参考に病床機能報告をしていただきたい。	
【質疑・意見等】 ○なし	

